

生体検知や生体情報を利用したアプリケーションへ応用可能。

概要

- 近赤外光を生体に照射して、生体内散乱光を検知し、生体情報を取得。
- ① 生体検知: 物体に比べ生体は内部散乱光を多く含む点を利用し、生体であること検知。
- ② 生体情報(脈拍、血流量等)取得: 内部散乱光には血液の情報が含まれることを利用。



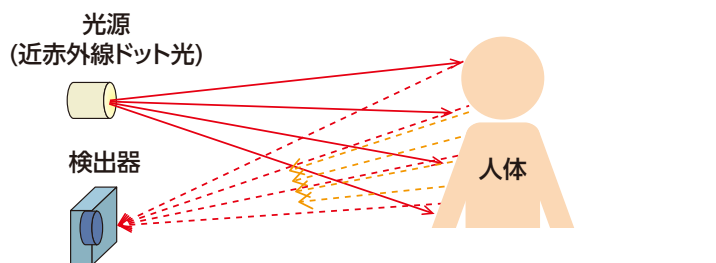
活用

- 顔認証、体動センシング、非接触脈拍センシング、見守りシステムなどへの利用。

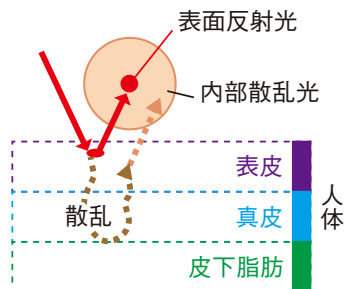


特徴

特徴



- 直接光/散乱光を空間的に分離。
- 散乱光を用いた生体内部情報取得。



活用例

- 顔認証
3D形状認識機能+生体検知機能
- 見守りシステム



体動なし⇒警報1



心拍異常⇒警報2